

昭和館だより



昭和館

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
☎03-3222-2577
<http://www.showakan.go.jp>



見る、調べる、わかる。 戦中・戦後のくらし。



常設展示室「昭和10年頃の家庭」

「体験ひろば」

七・六階の常設展示室では、昭和十年頃から昭和三十年頃までの国民生活を伝える、千人針や出征見送りの幟、代用品（陶製アイロンなど）、空襲下の服装、戦後の闇市で売られた物資、復興期の家電製品などの実物資料や写真を展示しています。六階の「体験ひろば」では、当時の衣服などに触れたり、体験談を

体験しながら学べる 常設展示室

新年あけましておめでとうございます。昭和館は今年も、戦中・戦後のくらしを後世に伝えるため、当時の労苦を語る実物資料の展示や、歴史的資料の検索システムなどを揃えて、児童・生徒の来館をお迎えいたします。社

勉強の楽しみは、自分の分からぬことや疑問を、苦労して

「調べ学習」に役立つ会科見学、総合学習、修学旅行の施設として、昭和館をどうぞのくらしを後世に伝えるため、

昭和館は今年も、戦中・戦後のくらしを後世に伝えるため、

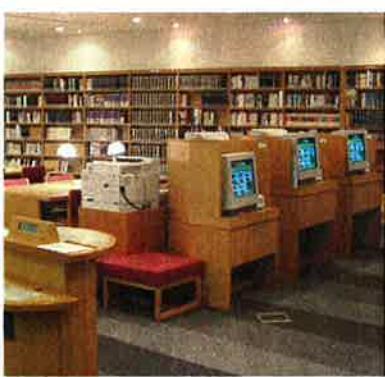
会科見学、総合学習、修学旅行の施設として、昭和館をどうぞのくらしを後世に伝えるため、

調べ、解決した時の喜びにあると思います。自分から積極的に勉強する、そんな時に役立つのが博物館や図書館です。昭和館では五階の映像・音響室、四階の図書室に、昭和期に関するたくさんの本や写真、ニュース映画、当時のレコードなどを保存しており、関心のある資料を検索して、閲覧できるようになっています。高度な内容が一部含まれますが、難しい資料を手に取つてみることも、良い勉強になります。

聞いたりすることができます。また、各コーナーには「解説シート」を用意して、資料解説の提供を行っています。



分かりやすい画面で資料を検索できます。



図書室には、約8万冊の蔵書があります。

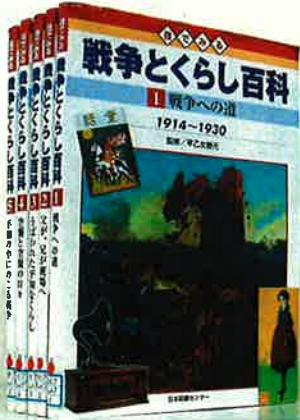


映像・音響室はお静かにご利用ください。

昭和館見学作文コンクールのお知らせ



この一冊 <図書資料>



目で見る戦争とくらし百科 (日本図書センター)

第一次世界大戦（大正3年）から戦後（昭和50年）までを、時代の流れに沿って、「事件」「くらし」「学校生活」「遊び・文化」のもとに解説しています。年表や写真、当時の資料、図解などが多く使われ、見ても読んでも分かりやすい図書です。（図書室で閲覧できます。）

一昨年から引き続き、昭和館では、来館した小・中学生の見学作文コンクールを開催いたしました。昭和館の見学後、その感想を改めて作文にすると、見学時の記憶がはつきりとして、学習の効果を高めることになります。優秀作品は昭和館のホームページなどで紹介して、多くの方々に読んでいただきたいと思います。皆様のご応募をお待ちしております。詳しい内容は、当館に資料をご請求ください。

では、来館した小・中学生の見学作文コンクールを開催いたしました。昭和館の見学後、その感想を改めて作文にすると、見学時の記憶がはつきりとして、学習の効果を高めることになります。優秀作品は昭和館のホームページなどで紹介して、多くの方々に読んでいただきたいと思います。皆様のご応募をお待ちしております。詳しい内容は、当館に資料をご請求ください。



昭和館を活用した学習例

【学習のテーマとねらい】

戦時下の生活について学び、戦争が一般の人々に与える影響の大きさを知る。

【事前学習】

戦時下の生活について学び、戦争が一般の人々に与える影響の大きさを知る。

【体験学習】

勤労動員、学童疎開、本土空襲、その背景にあった日中戦争と太平洋戦争について調べる。

昭和館に行つてみよう！

体験を通して学んだこと、資料を手に取った感想や印象をまとめる。また、図書館で手記や日記などを読み、当時の人々の想いについて考える。

【事後学習】

体験を通して学んだこと、資料を手に取った感想や印象をまとめる。また、図書館で手記や日記などを読み、当時の人々の想いについて考える。

第14回特別企画展 旅は世につれ ～昭和旅紀行～

平成16年2月24日(火)
～4月10日(土)

昭和期（戦前から高度成長期ごろまで）における旅行の目的や手段が、世相によって変化した様子を、当時の旅行用品や切符、パンフレットなどの実物資料に、写真・図解資料をまじえて紹介します。

また、写真や映像の中にある感覚を、立体映像で疑似体験できる巨大半球ドーム型スクリーン「サイバードーム」を、会場内に設置します。

※詳細は昭和館までお気軽に
お問い合わせください。

昭和館を見学し、戦時下の生活資料を目にするとほか、当時の衣服（複製）を身につけたり、映像・音響資料や当時の書籍を閲覧することによって、人々の生活の様子を具体的に学ぶ。

団体はバスも無料で駐車できます。団体・班行動での見学先（事前のご予約をできるだけお願いします）として、土曜日・日曜日の学習の場として、ぜひご利用ください。

9～12月の主なご来館校

昭和第一高等学校 1年生	128名
松戸市立和名ヶ谷中学校 1年生	151名
國學院久我山中学校 3年生男子	217名
入間市立扇小学校 6年生	143名
郁文館中学校 3年生	270名
鎌ヶ谷市立道野辺小学校 6年生	120名
印西市立西の原小学校 6年生	130名
所沢市立北小学校 6年生	130名

(この期間、約110校・約10,500名にご来館いただきました。)



授業でも使えるパンフレットを差し上げています。

ご意見をお寄せください

本紙を読まれたご感想、昭和館へのご意見、また実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
昭和館 総務課
ファックス 03-3222-2575

七階常設展示室「銃後の備えと空襲」のブースにある大きな資料です。警戒警報・空襲警報が発令中であることを表示するもので、佐賀市の警防詰所で使用されていました。県庁の指令本部から連絡が入ると、この表示板を目につくところに出して皆に知らせました。



展示室から （収蔵品紹介）